



2020年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年12月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <http://www.beautygarage.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理グループ統括責任者 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(5752)3897
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第2四半期の連結業績(2019年5月1日~2019年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第2四半期	7,711	19.1	314	45.8	316	47.6	163	30.1
2019年4月期第2四半期	6,473	20.4	215	△5.8	214	△8.2	125	△36.8

(注) 包括利益 2020年4月期第2四半期 158百万円(27.6%) 2019年4月期第2四半期 124百万円(△38%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第2四半期	25.81	—
2019年4月期第2四半期	19.75	19.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第2四半期	7,245	3,876	51.9
2019年4月期	6,827	3,810	54.9

(参考) 自己資本 2020年4月期第2四半期 3,759百万円 2019年4月期 3,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	—	—	9.00	9.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,035	15.8	743	18.3	751	16.5	451	19.0	71.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)台湾美麗平台股份有限公司、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期2Q	6,376,000株	2019年4月期	6,376,000株
2020年4月期2Q	54,980株	2019年4月期	482株
2020年4月期2Q	6,334,904株	2019年4月期2Q	6,362,121株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、米中貿易摩擦やアジア新興国地域の景気悪化の懸念や、各国の貿易政策等の通商問題といった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループでは顧客基盤が順調に拡大し、2006年より開始した会員制度における累計登録会員数が2019年9月に40万口座を突破いたしました。また、老舗美容器具メーカーの大広製作所と販売代理店契約を締結するなど、様々なメーカー様との取引口座開設も順調に進んでおり、取り扱い商品の大幅な拡充も進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,711,735千円（前年同期比19.1%増）、売上総利益は2,427,094千円（前年同期比21.7%増）、営業利益は314,472千円（前年同期比45.8%増）、経常利益は316,254千円（前年同期比47.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163,509千円（前年同期比30.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、WEBマーケティング施策に注力し、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。また、最新版通販カタログ誌「BG STYLE」3種を発行するなど、オンライン、オフラインともに積極的なプロモーション活動を行っております。

この結果、EC売上高が前年同期比26.1%増（物販売上構成比74.3%）、化粧品・材料売上高が前年同期比31.4%増（物販売上構成比48.0%）と大きく伸長し、物販事業全体としての売上高は6,084,693千円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は287,936千円（前年同期比46.0%増）となりました。

② 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ておりましたが、ビューティガレージグループとしての連携強化と積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加しました。当事業の売上高は1,388,311千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は79,100千円（前年同期比30.4%増）となりました。

③ その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗リースや講習・アカデミーのソリューションサービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は238,730千円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は20,902千円（前年同期比0.3%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.6%増加し、5,837,062千円となりました。これは、主に現金預金及びたな卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,408,724千円となりました。これは、無形固定資産及び投資その他の資産の減少があったものの、有形固定資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、2,933,155千円となりました。これは、主に前受金及び賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて28.7%増加し、435,905千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、3,876,725千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少87,184千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少57,379千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加163,509千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月13日の「2019年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2020年4月期の第2四半期累計期間の業績予想を2019年12月4日に修正いたしました。詳細につきましては、同日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2019年6月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,052,533	2,286,711
受取手形及び売掛金	1,163,717	1,043,821
営業投資有価証券	-	87,700
商品及び製品	1,635,124	1,530,423
仕掛品	83,264	338,229
その他	506,694	564,613
貸倒引当金	△16,969	△14,435
流動資産合計	5,424,365	5,837,062
固定資産		
有形固定資産	251,499	314,249
無形固定資産		
のれん	146,732	137,670
その他	308,100	296,569
無形固定資産合計	454,832	434,240
投資その他の資産	696,664	660,234
固定資産合計	1,402,997	1,408,724
資産合計	6,827,362	7,245,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,436	1,237,656
短期借入金	47,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	157,802	184,066
未払金	280,290	265,364
未払法人税等	149,315	185,205
前受金	240,832	442,907
賞与引当金	50,628	180,412
訴訟損失引当金	12,274	-
その他	506,658	410,544
流動負債合計	2,678,238	2,933,155
固定負債		
長期借入金	158,400	232,776
ポイント引当金	74,442	83,974
資産除去債務	44,224	44,834
退職給付に係る負債	8,434	7,997
その他	53,263	66,322
固定負債合計	338,764	435,905
負債合計	3,017,003	3,369,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	712,345	713,956
利益剰余金	2,269,475	2,364,734
自己株式	△351	△87,535
株主資本合計	3,749,854	3,759,540
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,102	△18,920
その他の包括利益累計額合計	△6,102	△18,920
新株予約権	1,028	1,028
非支配株主持分	65,578	135,077
純資産合計	3,810,358	3,876,725
負債純資産合計	6,827,362	7,245,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
売上高	6,473,251	7,711,735
売上原価	4,478,794	5,284,641
売上総利益	1,994,456	2,427,094
販売費及び一般管理費	1,778,736	2,112,621
営業利益	215,719	314,472
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	64
固定資産売却益	-	4,289
その他	1,485	3,731
営業外収益合計	1,504	8,085
営業外費用		
支払利息	1,050	1,279
固定資産除却損	-	2,633
その他	1,897	2,390
営業外費用合計	2,948	6,303
経常利益	214,275	316,254
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	-	840
固定資産売却益	89	-
特別利益合計	89	840
特別損失		
減損損失	-	16,695
特別損失合計	-	16,695
税金等調整前四半期純利益	214,365	300,400
法人税、住民税及び事業税	105,076	171,245
法人税等調整額	△18,804	△36,837
法人税等合計	86,271	134,407
四半期純利益	128,094	165,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,415	2,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,678	163,509

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
四半期純利益	128,094	165,992
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,992	△7,593
四半期包括利益	124,102	158,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,921	157,067
非支配株主に係る四半期包括利益	2,180	1,331

10 (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214,365	300,400
減価償却費	59,650	81,440
減損損失	-	16,695
のれん償却額	20,054	22,794
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,606	△2,533
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8,493	9,531
その他の引当金の増減額(△は減少)	103,435	136,815
受取利息及び受取配当金	△19	△64
支払利息	1,050	1,279
有形固定資産売却損益(△は益)	△89	△4,289
売上債権の増減額(△は増加)	163,026	130,286
たな卸資産の増減額(△は増加)	△302,579	△232,401
仕入債務の増減額(△は減少)	△335,544	△21,996
前渡金の増減額(△は増加)	132,339	49,847
未払金の増減額(△は減少)	△86,923	△36,359
前受金の増減額(△は減少)	183,554	202,075
その他	88,695	△120,224
小計	239,902	533,296
利息及び配当金の受取額	19	64
利息及び保証料の支払額	△1,013	△1,276
和解金の支払額	-	△11,433
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△135,123	△161,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,784	359,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,957	△63,022
有形固定資産の売却による収入	90	57,654
無形固定資産の取得による支出	△28,220	△22,180
投資有価証券の取得による支出	△15,474	△65,000
敷金保証金の差入による支出	△31,508	△45,059
敷金保証金の回収による収入	16,698	-
その他	△493	△493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,866	△138,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△79,998	△49,911
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△116,003	△99,359
リース債務の返済による支出	-	△2,469
株式の発行による収入	349,430	-
非支配株主からの払込みによる収入	15,617	-
配当金の支払額	△55,949	△57,519
自己株式の取得による支出	-	△100,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,096	△110,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,955	△8,650
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,059	102,840
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,648	2,052,533
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,646	131,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,752,354	2,286,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,995,007	1,274,328	203,914	6,473,251	-	6,473,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,321	29,784	14,642	193,749	△193,749	-
計	5,144,329	1,304,113	218,557	6,667,000	△193,749	6,473,251
セグメント利益	197,153	60,638	20,847	278,639	△62,920	215,719

(注) 1. セグメント利益の調整額△62,920千円には、セグメント間取引消去25,353千円、未実現利益の調整額3,084千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,358千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,084,693	1,388,311	238,730	7,711,735	-	7,711,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,412	35,995	12,527	89,936	△89,936	-
計	6,126,106	1,424,307	251,258	7,801,672	△89,936	7,711,735
セグメント利益	287,936	79,100	20,902	387,940	△73,467	314,472

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,467千円には、セグメント間取引消去32,866千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,334千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、未償却残高16,695千円を減損損失として特別損失に計上しております。